

年 組 名前：

明日は晴れる?
山梨に残る天気の違い

◆甲州市

身近な山や丘の様子から天気の変化を見る言い伝えは、甲州市にも多く残る。旧大和村には「駒飼山に雪が降り始めると、古部の方でも雪が降る」(大和村誌)などの言い伝えがある。古部は国道20号沿いの集落。駒飼山は旧甲州街道を笹子峠へ向かう途中に位置し、古部からは西方向に見える。大和村誌には「ふつきり

「ふつきりてつきり」?



日常の景色や様子で天気変化を予想する言い伝えがある甲州市勝沼地区

えも記載されている。「ふつきり」は風に吹かれたような霧。「たつきり」は立ち上るような霧。風に流れる霧が見られる時には照る(晴れ)、上空に立ち上る霧が見えたと降る(雨)ということなのだ。

「南の方で雷が鳴ると雨になる。北の方で鳴っても降らない」「お月さんが笠をかぶれば、三日のうちに雨が降る」などの言い伝えも残る。

旧勝沼町の上岩崎には、「縁の下の石が濡れると雨が降る」(勝沼町誌)と、思わぬ所の湿り気を見て取って、雨を予想する言い伝えがある。「雨上がりに虹が川を越せば、まだ雨が上らない」「夕虹(夕焼け)は百日の照り。朝虹(朝焼け)は川越すな」「スズメがあまりさえずる時には雨」「子供があまりさわぐと曇り」など、日常の身近な景色や様子から天気の変化を予想するものも数多く伝わる。(日本ネットワイクサービス気象情報室)

Ⅱ毎週火曜日に掲載します

(2021年05月18日付 山梨日日新聞 20面)

問1

甲州市の旧大和村に残っている、天気の変化を見る言い伝えの「ふつきり」と「たつきり」は、

どんな気象状況か説明してください。

「ふつきり」 →

「たつきり」 →

問2

天気を表す記号を調べ、「晴れ」「雨」「くもり」「雪」「霧」の記号をそれぞれ書いてください。

「晴れ」 「雨」 「くもり」 「雪」 「霧」

問3

あなたが住んでいる市町村には、天気の違いがありますか。家族や近所の人に聞いてみましょう。